

SEMI-AUTOMATIC POLYPROPYLENE

STRAPPING MACHINE Unionシリーズ

半自動梱包機 UNION-9200

**シンプル構造で操作はカンタン！
作業効率アップに貢献します。**

倉庫内作業、店舗に。

標準型

UNION-9200

定価210,000円

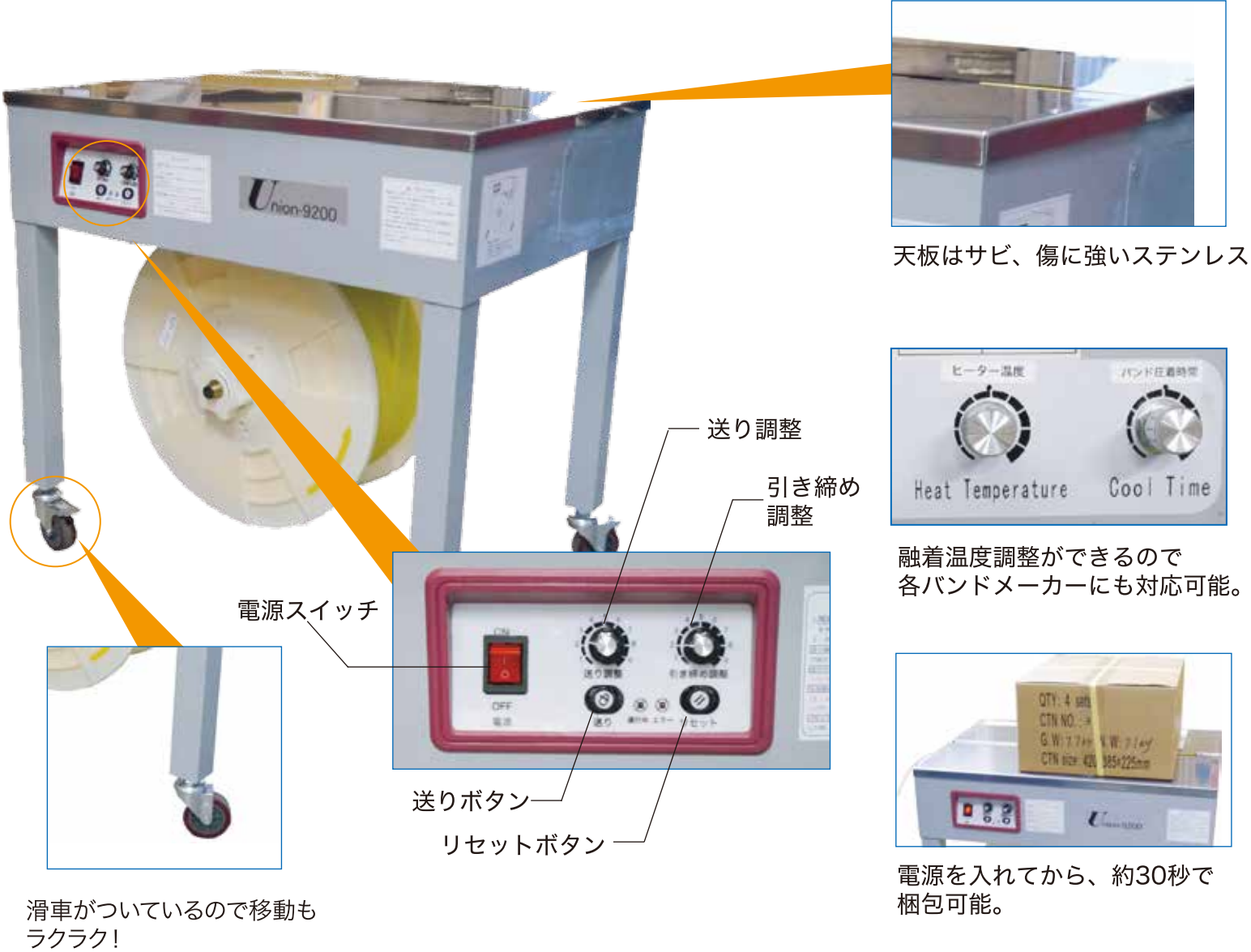


2016 年 1 月販売開始の新モデル



特 徴

- 従来より省電力でありながら、パワーもあるレベルの高いモーターを搭載しました。
- 音も静かになり、店舗などにも最適です。
- 引き締め調整が手前のフロントパネルで、よりきめ細かく、簡単に微調整できるようになりました。



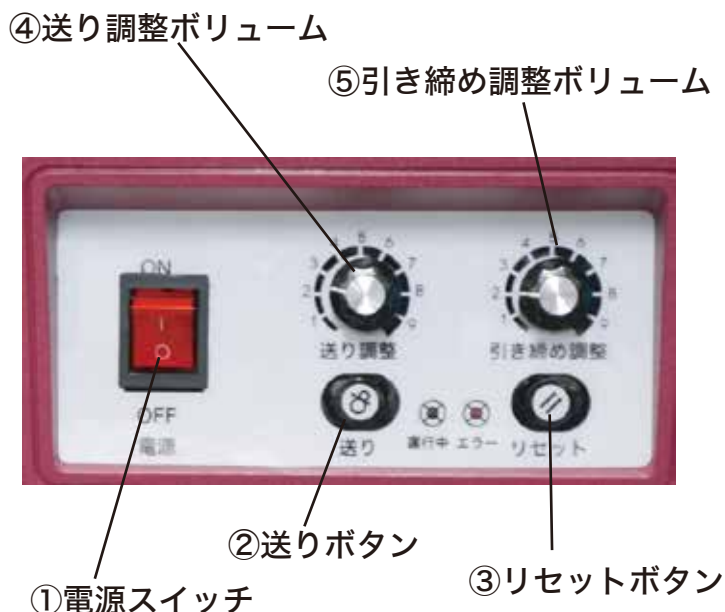
用途：各種梱包、結束（段ボール箱、タイヤ、ホイール、木材、雑誌、重ねたチラシなど）

型番	Union-9200(標準型、四つ脚タイプ)
電圧	100V 50HZ/60HZ共通 270W
外形寸法	横780 x 縦540 x 高さ750 (mm)
重量	55kg
梱包可能サイズ	最小:10センチ角 最大:∞ (特に制限はございませんが荷台(天板)をはみ出すと支えが必要です。)
対応PPバンド	9～15.5mm幅、中心が20cm ∅ 各バンドメーカーに対応
引締力	5～50kg
梱包能力	約3秒/1結束

株式会社アスクワークス
ASKWORKS

販売代理店名

操作パネル部の説明



⑤引き締め調整ボリューム

荷物を轻めに縛ったり、強めに縛ったりする引き締め力を調整します。

(0だと、わっかのみまま結束されることがあります。その際は、わっかにならない程度の0.5や1ぐらいに微調整してください。また、4以上でかなり強めに梱包します。一気にメモリを上げず、少しずつ調整して下さい。トラブルの原因になります。)

(強く縛れば縛るほど、バンドを引っ張るローラーが磨耗しやすいです。可能な限り、弱めに縛ったほうが、機械は長持ちします。)

①電源スイッチ

上がオンで、下がオフです。
(約30秒でヒーターが使用可能まで熱くなります。)

②送りボタン

ボタンを押している間、バンドが出てきます。
(バンドは手で引っ張らず、必ず送りボタンを押してバンドを出してください。)

③リセットボタン

通常は使いませんが、バンドが詰まった時や、梱包に失敗した時、または試験的に動かしたいときに使います。

(長押し時)=バンドをカットして、新しいバンドが出てくる)

(軽押し時)=半工程だけカムシャフトが動く(正常時に押すとバンドを引っ張る動作、引っ張る動作のとき押すとカムが正常位置に戻る)) バンドが抜けてしまった時、バンドが入らない時など押してみてください。

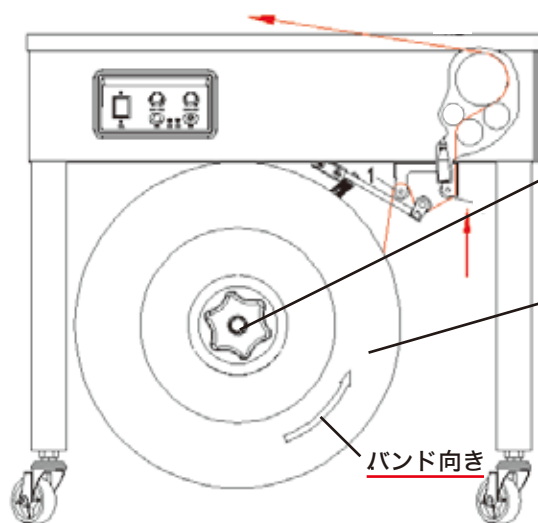
④送り調整ボリューム

梱包した後、出てくるバンドの長さを調整します。
荷物の大きさによって、調整してください。

設置場所等の注意点

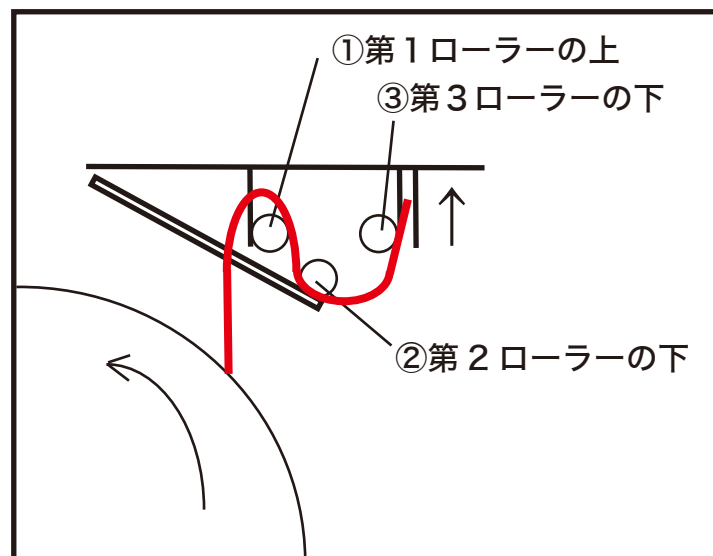
- ・同じコンセントから他の機械(例：夏場の大型の扇風機、冬場の暖房器具など)を使わないで下さい。電圧が下がり、動作に不具合が出る場合があります。
- ・雨が当たるところや湿気の多い場所には設置しないで下さい。
(ひさしだけの屋外に置くこと、冷蔵庫、冷凍室等への設置は好ましくない)
- ・平らなところで使用してください。足が曲がってしまいます。
- ・電源を入れた状態では、ヒーターが常に200℃近く高温になっています。一定時間使わないときはできるだけ電源をお切りください。(ヒーターが長持ちします。)
また、終業時の電源の消し忘れには、特にご注意ください。
- ・バンドを溶着するとき、多少煙がでますので、長時間使用するときには、風通しの良い場所で使用してください。
- ・使用するPPバンドは幅9mm～15.5mm、厚み0.58～0.75、機械用をご使用ください。

PP バンドの通し方



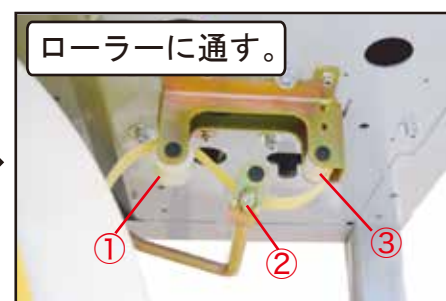
①中心のねじを外す。(逆ネジなので時計回りで外れます。)

②手前の円盤をはずし、PP バンドを矢印の方向（反時計回り）に向きを合わせ、セットする。(注：バンドは、ばらばらになると、大変です。セットした後、バンドを縛っている3箇所の梱包を解くことをお勧めします。)
そして、円盤とネジをまた取り付ける。



③まず、左の図をご覧ください。第1、第2、第3の順に、バンドをローラーに通します。第3ローラーまで通したら、そのまま上にバンドを押し込みます。
そして電源を入れ、右手でバンドを押し込みながら左手で送りボタンを押します。
成功すると、天板の中央のレールからバンドが出てきます。
(注意：バンドの先端が曲がっていたり、よれていたなら入りません。その際は、はさみで先端を切って整えてください。)

ポイントごとの写真



梱包（結束）のやり方



電源を入れます。

梱包作業を開始する前に、バンドを溶かすヒーターが温まるまで、約30秒お待ちください。

(引き締め調整が極端な設定になってないかご確認ください。)



荷物を天板に載せます。このとき、黒い鉄板（スライド板）が完全に隠れるように載せてください。



× 悪い例

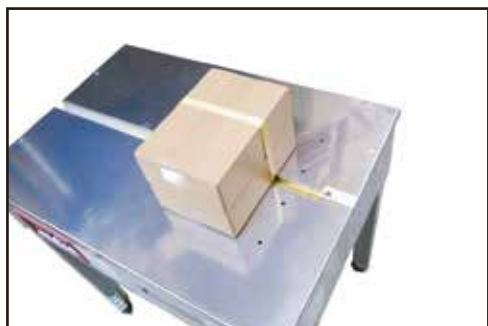
黒い鉄板（スライド版）が見えている。



バンドの先端を持ち、バンドを右側から差し込みます。

すばやく、そして奥まで差し込んでください。

平行に、ラインに真っ直ぐに差し込むのがポイントです。



バンドの先端が、黒い鉄板の下のスイッチにあたると、バンドを自動で引き締め、カットされて、溶着し、次のバンドが出てきます。

指を挟まれないように、ご注意ください。

ヒーターの温度の調整、圧着力の調整

PP バンドの厚みやメーカーによって、または季節や設置場所によって、
接着部分の熱量（ヒーター）などの調節が必要な場合があります。

注：（新品出荷時には、基本の適温、適圧に設定してあります。

（印がしてあるところ。） 不必要にいじらないでください。）



圧着時間の調整ボリューム

軽いものを梱包するときは、短くて OK です。

（短すぎると、バンドがくっつきません）

逆にタイヤなど、重いものを梱包するときは、長めに
設定すると、よりしっかり圧着し、持ったときにバンドが
切れてしまう、といったことがなくなります。

（基本はメモリ3ぐらいでちょうど良いです。）

ヒーターの温度調整ボリューム

バンドがくっつかなくなったら、温度調整で解決できる可能性があります。

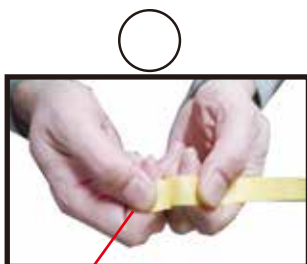
ヒーター温度は高すぎても、低すぎても溶着しません。

失敗した PP バンドの溶け具合を見て、調整してください。

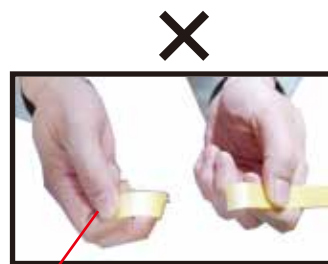
- ・バンドとバンドが溶着している部分を手で、はがしてみても、すぐにはがれるようなら調整してください。



バンドの溶着部分



手で、はがそうとしても
はがれない。



簡単にペリッと、はがれてしまう。

ヒューズの役割

ヒューズ（適応ヒューズ 6A32 ミリ）

モーターに無理な負荷がかかったり、水が入って漏電したりすると、安全のためヒューズが切れます。

もし、電源を入れて、電源ランプが光っているのに機械が全く動かない場合、ヒューズをご確認し、

切れているようなら交換してください。

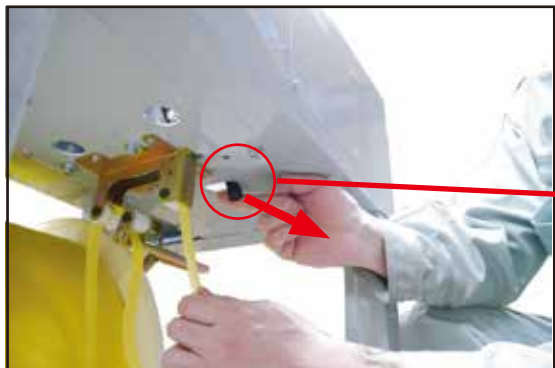
その際、なぜヒューズが切れたか、その原因を除去する必要があります。（例：バンドの通り道に何かが詰まっている、
結露して電子基板が塗れてしまい、漏電した。など）

もし、ヒューズを交換しても、すぐにまたヒューズが切れる場合は、危険です。使用をやめてください。

メンテナンスに関して

バンドの抜き方

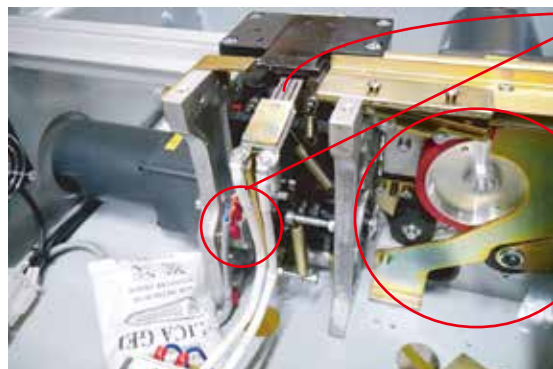
掃除をしたり、注油をする前に、バンドを抜いて作業すると楽です。
また、バンドが詰まってしまう、バンドを強制的に抜きたいときも
この方法で、抜いてください。



機械右側に回り、黒いレバーを手前に引きながら、
バンドを引っ張ると抜けます。

注油

- ・注油は使用頻度にもよりますが、年に1回で十分です。ただし、水産業の方や、食品会社で常に湿度が高い環境でご使用の場合、錆びないように、頻繁に注油をお勧めいたします。
- ・使用する油は、機械油や、クレ556のような、潤滑スプレーをご使用ください。
- ・油を差してはいけないところもあります。十分注意してください。(特に電子部品は一発で壊れる場合もございます。) また、電源を抜いてから作業してください。



× 油をかけてはいけない場所
電子部品には絶対かけない！！
また、バンドを引っ張るローラーにもかけないこと。

こういったタイプの場合、必ずノズルの先端に棒をつけてください。棒がないと、電子部品にもかかってしまいます。



ヒーターの保護版を外すと楽です。
プラスネジ、2箇所です。



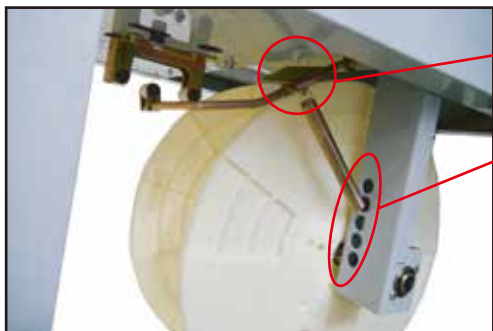
これ以上後ろに
下げないこと。
ばねが伸びきって
しまい、不具合が
出ます。

写真のように、スライド版（黒い鉄板）を2センチぐらい奥へずらし、スライド版の脇や、下のばねや、カッターの刃に注油して下さい。

そうじ

- ・年に一度ぐらいは、バンドのかすや、ほこりを取り除いてください。
(必ず電源を切るか、コードを抜いてから作業してください。)

ブレーキの調整



ブレーキのゴム

ブレーキのばねは、
引っ掛ける穴の位置で
ばねの強さを変えられ
ます。

ドラムが空回りして、PPバンドが円盤からはみ出てしまい、ドラムに絡まってしまうようならブレーキの調整または、ゴムの交換が必要です。

(写真は UNION-9200 のものです。)

トラブルに関して

・電源が入らない。

電源ランプは光る→ヒューズ（6A32 ミリ）が切れている可能性があります。

電源ランプが光らない→電源スイッチが壊れているか、コードが切れている。

・PP バンドがくっつかない。

ヒーターの温度、圧着時間が適正でない→ヒーターの温度が低すぎても、高すぎてもくっつきません。
微調整してください。

また、圧着時間が短すぎてもくっつきません。（圧着時間は長ければ長いほどしっかりくっつく）

梱包の引き締め調整が強すぎると、くっつきが悪くなります。引き締めに弱めてください。

それでも直らない場合、いくつかあるリミットスイッチの内、どれかが壊れた可能性、ヒーターの根元のばねが切れた可能性、ヒーターとトランスをつないでいる導線の根元のネジが緩んでいる可能性があります。

・梱包した後、PP バンドが出てこない

バンドの通し方（バンドの向き）が間違っていないか、今一度ご確認ください。

カッターのところのバネが切れた可能性があります。

カッターが切れなくなって、バンドを噛んでしまっている（挟んでいる）状態の可能性があります。

・梱包した後、煙が上に昇る。

ファンが止まっている可能性が高いです。ファンにごみが詰まっていないか、確かめてください。

それでも動かないときはファンのそうじ、交換が必要です。

・梱包した後、バンドが切れない。（荷物が荷台にくっついたまま）

カッターが切れなくなった可能性があります。

いくつかあるリミットスイッチの内、ひとつが壊れた可能性があります。

基盤が壊れた可能性、などが考えられます。

・モーターが動かない

モーターのモーターブラシの交換が必要の可能性があります。（黒いプラスチック製のマイナスネジのところ、1つのモーターに2箇所あります。）

・バンドを引っ張ったとき、スリップする

バンドを引っ張るローラーが磨耗している可能性があります。調整あるいは交換が必要の可能性があります。

追加説明 15.5 ミリ幅以外のバンドを使うとき。

出荷時は、特に指定がない限り 15.5 ミリ幅のバンドを使用する設定になっております。
それ以外のバンド（12 ミリ幅、9 ミリ幅など）を使う場合は、以下の手順でバンド幅の調整を行うと、バンドとバンドがぴったり合います。



幅調整が正しいと、バンドとバンドのずれが生じません。

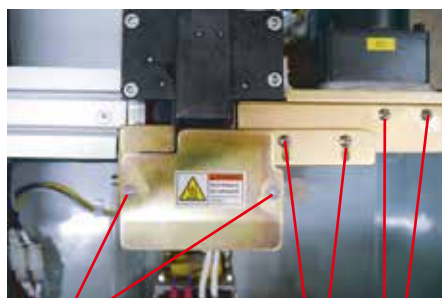


調整をしないと、ずれが生じてしまいます。



（注：調整する際は、約2ミリ余裕を持たせてください。

ぴったり過ぎると、バンドがスムーズに入らなかったり、詰まったりします。）電源を切って作業してください。



②カバーを外す。

①このネジを緩めて、差込むときのバンド幅を調整する。



④この六角ネジを緩めて、出てくるバンドの幅を調整する。



ここに数字が刻まれています。

⑤ガイドに刻まれている数字を参考に入るバンドの幅を調整する。

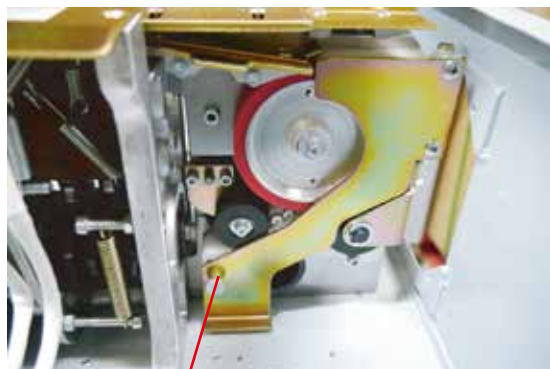
③調整後、⑤のために外す。

追加説明 バンドが詰まってしまったとき

バンドが内部で詰まってしまい、リセットボタンを押しても動かない、または **5** ページ目の **バンドの抜き方** の方法でも引っかかって出てこない場合、以下の場所を点検してください。

安全のため、電源をお切りください。

手前の天板を開け、本体右側の、赤いローラーに注目ください。



このネジを手で回して外す。

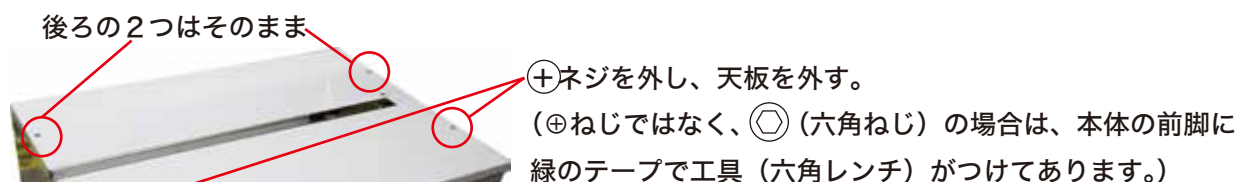


ローラー内部に、バンドの切れ端などが詰まっていたら、取り除いてください。

追加説明

急に、PP バンドが全くくっつかなくなってしまった場合

PP バンドを溶着するヒータープレートがずれてしまった可能性があります。
元の位置に戻せば復旧できる可能性があります。



■注意

- ・電源を切ってから作業してください。
- ・ヒーターは電源を切った直後は熱いので
直接触らないでください。



ヒータープレートが台座から外れていないか、チェックしてください。

正しい位置

上から見て



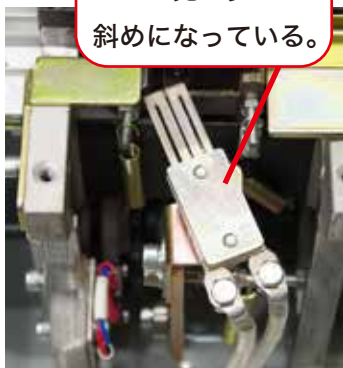
横から見て



台座

ヒータープレート

悪い位置 (悪い例)

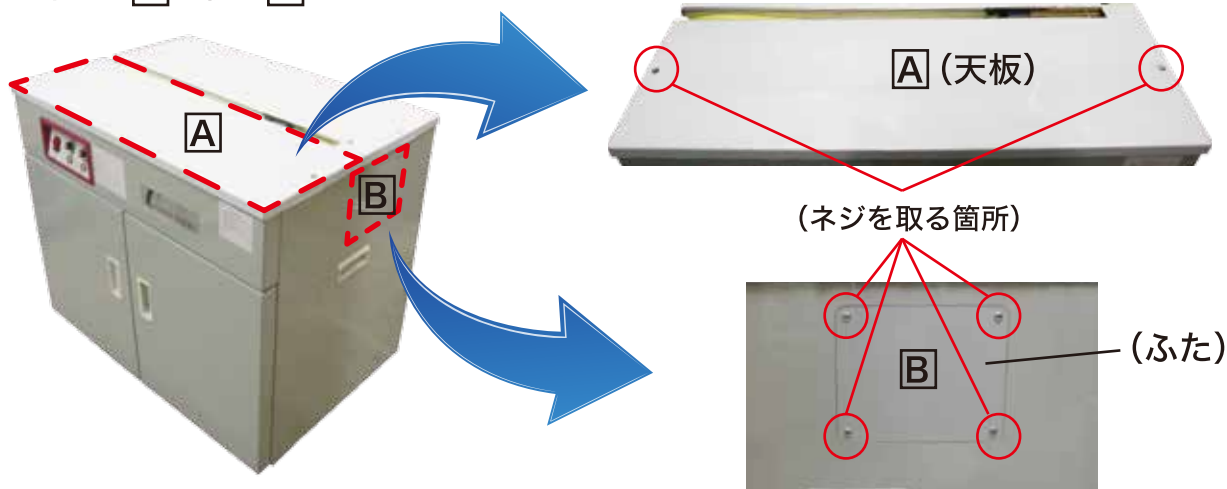
上から見て少し
斜めになっている。横から見て、台座から
浮いてしまっている。

ヒータープレートをカチッとはめ込まれる位置に合わせて
ください。

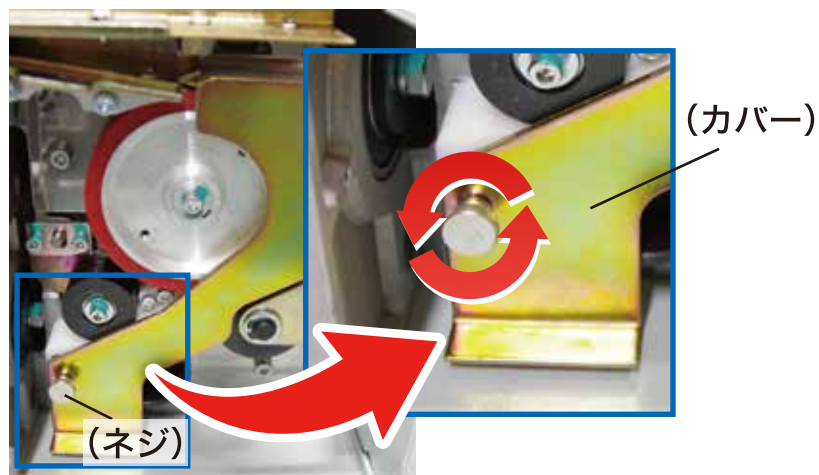
バンドが出てこない。バンドが割れて出てくる。 バンドが中に入っていない場合

(注：図は 9300 型ですが、9200、7700 も構造は同じです。)

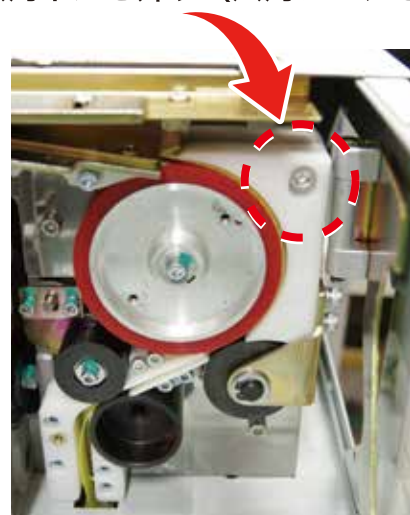
①ネジを取り、**A**天板と**B**ふたを外します



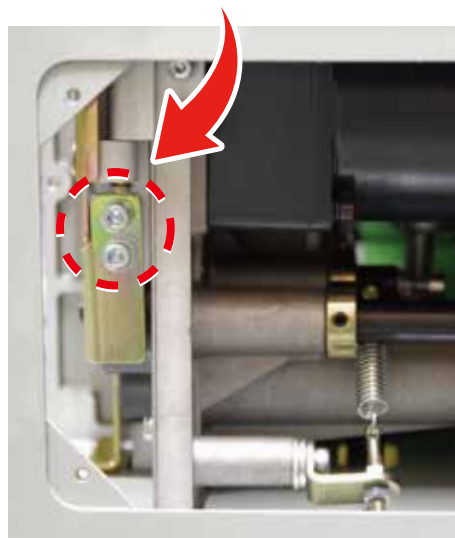
②手で回せるネジを  方向に回して
ネジを外し、カバーを開ける。



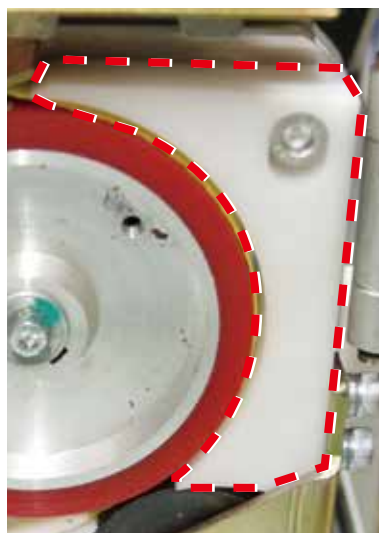
③六角ネジを外す (六角レンチを使用)



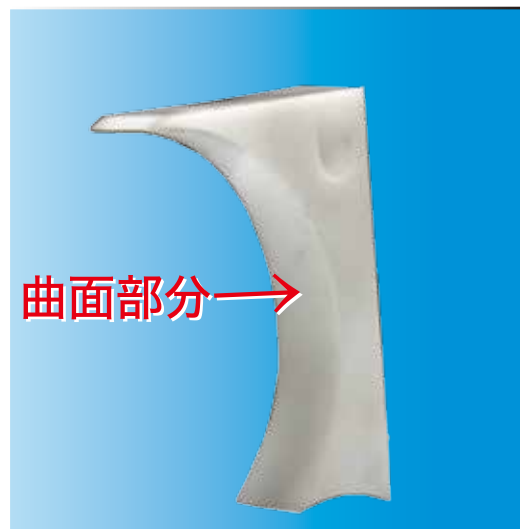
④今度は右側の小窓**B**を開け、
六角ネジを 2 つ外します。



⑤白いプラスチック部品を外し、
中にバンドのくずが詰まっ
ていたら、取り除いて下さい。



⑥もし曲面部分に大きな傷がある場合、
そこでバンドが引っかかってしまうので、
この部品の交換が必要です。



消耗品

(2016/2/2 改定) 価格は変動する可能性があります。

推奨 PP バンド タフバンド

代引き発送特価 (税、送料、代引き手数料込みで)

2 巻セット

8700円！

- ・銀行振り込みの場合は、税込み、送料込みで 8456 円、ご来店引取りの場合は税込み 7700 円。
- ・沖縄、離島を除く

(さらに 5 梱包 (10 巻) だと
税込 $7400 \times 5 = 37000$ 円！送料無料で)
(メーカー直送のため、代引きができません)

タフバンド (アスクワークス社推奨バンド)
PP バンド 2 巻セット

15.5mm 幅 2500M 黄色

しっかりした厚みがあり、一度融着したら切れにくい。
軽い箱から、段ボール箱、タイヤ、木材にも最適。
(青、半透明もあります。)

また 12 ミリ幅 3000M もあります。 (+200 円)

お振込みの場合

2 巻セットで 7130 円 + 送料 700 円 + 税 = 8456 円

お振込先

エイフクチョウエキマエ

三菱東京 UFJ 銀行 永福町駅前支店 普通 0453806 カ) アスクワークス

- ・ご入金確認後の発送にてお願いしております。
- ・お振込み手数料は、お客様のご負担にてお願いしております。
- ・お振込みの前に、お電話にて在庫のご確認をお願いいたします。

ご注文をお待ちしております！！

130-0004

東京都墨田区本所 4-2-2

株式会社 アスクワークス

TEL 03-5610-3666

FAX 03-5610-3667

E-mail info@askworks.com